

(1) 総括

平成28年度は、第5次鶴ヶ島市総合計画・後期基本計画の初年度にあたり、前期基本計画の成果を検証し、各種事業に積極的に取り組むとともに、国の動きと連動し、地方版総合戦略の取組の先駆性を高め、レベルアップの加速化を図るための対策を含んだ、平成27年度補正予算と平成28年度当初予算を一体的に編成しました。

歳入では、市税は4年連続して増額になったほか、ふるさと納税制度を活用した寄附金が3億円を超え、増額になったものの、地方譲与税と各交付金では大幅な減額のほか、地方交付税、臨時財政対策債、繰入金、市債なども減額となり、歳入総額は8億5,807万8,965円、3.9%の大幅な減額となりました。

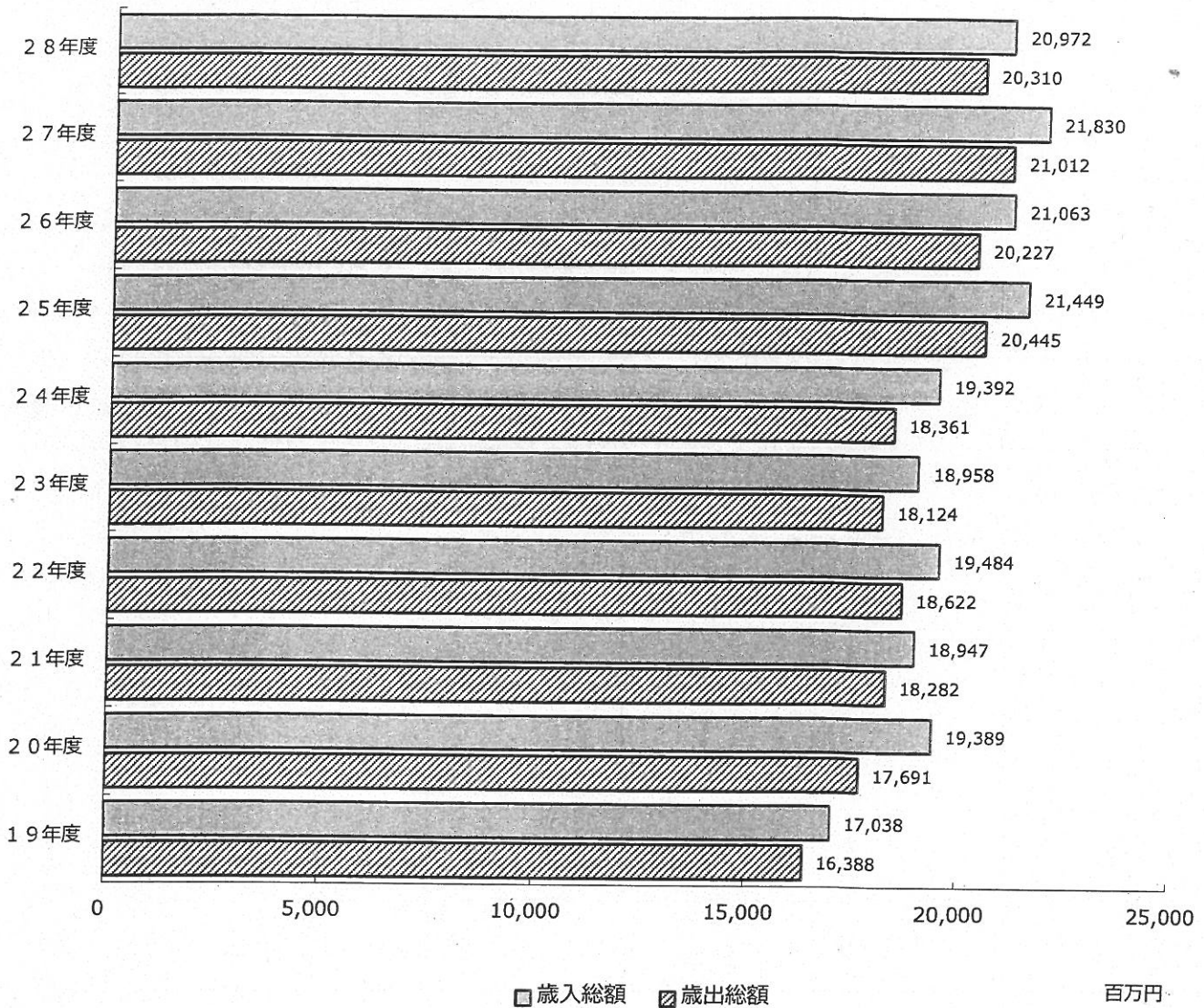
歳出では、障害者自立支援給付等事業や、市債元金償還金などが大幅に伸びているものの、事業の完了により、庁舎窓口環境改善事業(工事)、小・中学校体育館非構造部材耐震化事業(工事)、(消費喚起)地域経済応援事業が皆減のほか、財政調整基金積立金の大幅な減などがあり、歳出総額も7億180万3,867円、3.3%の大幅な減額で、歳入歳出ともに過去最大であった前年度を大きく下回りました。

(2) 決算規模

(単位 円)

一般会計		平成28年度 決算規模	平成27年度 決算規模	増減額	増減率
予算現額	(A)	20,948,905,000	21,806,702,000	△ 857,797,000	△ 3.9 %
歳入総額	(B)	20,972,114,784	21,830,193,749	△ 858,078,965	△ 3.9 %
歳出総額	(C)	20,309,850,498	21,011,654,365	△ 701,803,867	△ 3.3 %
歳入歳出差引額 (B) - (C)	(D)	662,264,286	818,539,384	△ 156,275,098	△ 19.1 %
翌年度に繰り越すべき財源	(E)	15,624,000	65,307,000	△ 49,683,000	△ 76.1 %
実質収支 (D) - (E)	(F)	646,640,286	753,232,384	△ 106,592,098	△ 14.2 %
前年度実質収支	(G)	753,232,384	759,599,828	△ 6,367,444	△ 0.8 %
単年度収支 (F) - (G)	(H)	△ 106,592,098	△ 6,367,444	△ 100,224,654	
積立金	(I)	410,564,000	760,309,000	△ 349,745,000	△ 46.0 %
繰上償還金	(J)	0	0	0	0.0 %
積立金取崩し額	(K)	284,257,000	812,563,000	△ 528,306,000	△ 65.0 %
実質単年度収支 (H)+(I)+(J)-(K)	(L)	19,714,902	△ 58,621,444	78,336,346	

一般会計決算規模の推移



【一般会計の主な増減要因】

増要因

- 障害者自立支援給付等事業
- 市債元金償還金
- 年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業

減要因

- 財政調整基金積立金
- 庁舎窓口環境改善事業（工事）
- 小・中学校体育館非構造部材耐震化事業（工事）